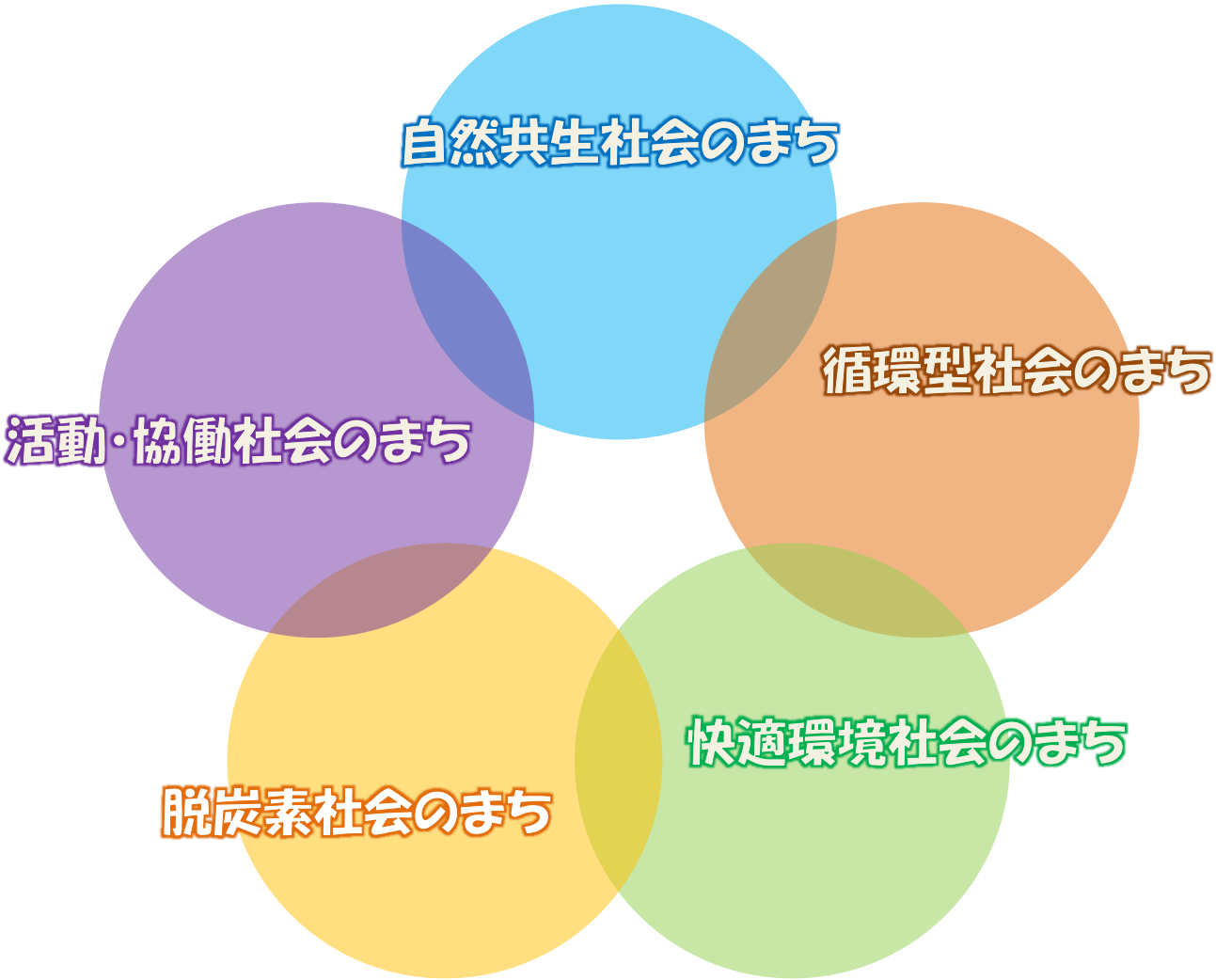
令和６年度

富良野市環境白書

～ふらのの魅力を支える環境を守り 活かすまちをめざして～



富 良 野 市

「富良野市 環境基本計画」を進めるにあたって

環境基本計画に沿って取組を進めるためには、環境についての現状を知ることが大切であり、そのために、「ものさし」となる環境指標や、各種施策の数値目標を設定し、定期的にその達成状況や変化を把握することが必要です。

本書では、環境に関連する各種施策の数値目標に対する達成の度合いや、年度内の具体的な取組を記載しています。また、環境指標や数値目標については、環境基本計画の進捗段階において、必要に応じて見直しや追加をしていくことで、効果的な計画推進に役立てます。

目　次

基本目標１　自然共生社会のまち

① 持続可能な農地の保全と活用 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
② 森林の保全と育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
③ 河川環境の保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
④ 野生動物との共生と保護活動の推進 ・・・・・・・・・・・ 3
⑤ 自然環境資源の有効活用 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

基本目標２　循環型社会のまち

⑥ ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進 ・・・・・ 4
⑦ ごみの適正処理とストックの有効活用の推進 ・・・・・・ 4

基本目標３　快適環境社会のまち

⑧ 魅力ある農村景観の保全と都市景観の形成 ・・・・・・・ 5
⑨ 良好な生活環境の維持 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
⑩ 有害化学物質への対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

基本目標４　脱炭素社会のまち

⑪ 地球温暖化防止策の推進と実践 ・・・・・・・・・・・・ 10
⑫ 資源・エネルギーの有効利用と実践 ・・・・・・・・・・ 12
⑬ 気候変動への適応策の推進 ・・・・・・・・・・・・・・ 13

基本目標５　活動・協働社会のまち

⑭ 市民、事業者、市の協働による自主的な活動の推進 ・・・ 14
⑮ 幅広い世代への環境教育・環境学習の推進 ・・・・・・・ 15
⑯ 環境情報の共有化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
⑰ 広域的ネットワークの構築 ・・・・・・・・・・・・・・・ 16

自然共生社会のまち

①持続可能な農地の保全と活用

本市では、持続可能な農業の実現のために、農業者の様々な取組や、農地周辺の草刈りや緑化などの環境保全活動を支援しています。また、メイドインフラノ事業やふらの未来農業 EXPO 等のイベントを行い、６次化など経営の多角化を進めています。

市内の GAP※認証を受けている農場件数
8 農場（目標値:R12 年度 23 農場）

	R3	R4	R5
GAP 認証農場件数	11	20	8

（資料）農林課より

食の安全安心等に関する研修会受講者数
626 名（目標値:R5年度 500 名）

	R3	R4	R5
研修会受講者数	212	129	626

（資料）農林課より

GAP（Good Agricultural Practice）は「農業生産工程管理」「良い農業のやり方」等と訳されており、農場での数多くの作業や生産環境のうち安全を確保するためのポイントをまとめたもので、生産者はポイント（基準表）に基づいて作業を行います。従来の「結果管理に基づく品質保証」に対して「生産工程管理に基づく品質保証」であり、安全を確保する様々な対策を講じることにより危険性を最小限にする予防型の取組です。

GAP に取り組むメリットとして以下の効果があげられ、富良野市では特に第三者認証による GAP の普及を進めています。

①的確な安全管理～危害要因の排除、農産物の安全性の確保
②適正な栽培管理～農産物の品質向上
③農作業の効率化～農業経営の改善
④リスク管理～問題発生時の原因の特定と事後の証明が可能

◆令和 5 年度の具体的な取組

- 農村の多面的機能の維持増進に向け、地域共同による維持管理及び農村環境の資源向上活動を支援（6地区）
- 環境保全型農業直接支払交付金事業の取組実施者 11名
- 中山間地域等直接支払交付金事業にて地域の魅力発信事業の実施 1件
- ふらの未来農業エキスポの開催 参加者626名
  デジタル技術の活用を中心にフォーラム・研修会・展示会など
- メイドインフラノ認定事業※　認定→14社 64商品

MADE IN FURANO とは　～市が地元食材にこだわった加工品の独自認定制度～

豊かな農産物とこだわりの飲食店、観光地ならではの加工品が揃うここ富良野で、もっとたくさんの、美味しい『MADE IN FURANO（富良野産）』を味わってもらいたい･･･。 食に関わるすべての人の思いをひとつにすることを目的に、平成 28 年度よりスタートした取組が『MADE IN FURANO』です。 食の原点である畑から、お客様に提供するサービスの場までをひとつなぎとし、自慢の味にストーリーを添えて、味わうすべてのお客様へ本当に美味しい富良野を届けます。

自然共生社会のまち

②森林の保全と育成

本市の 70%以上は森林であり、その内訳は、国有林が 36%、公有林が２%、私有林が 62%となっています。市有林については造林・除間伐・下刈を実施しているほか、公有林・私有林の造林・除間伐・下刈に対して助成を行っています。

市有林面積
836ha（目標値:R12 年度 840ha）

	R3	R4	R5
市有林 面積（ha）	836	836	836

（資料）農林課より　※森林統合クラウドシステム

	R4	R5
伐採跡地 未立木地面積（ha）	232.9	253.6

（資料）農林課より

◆令和 5 年度の具体的な取組

・富良野市森林整備計画に基づき、計画的な森林整備を推進
　市有林／皆伐（4.05ha）、下刈り（16.36ha）、造林（2.74ha）の実施
　民有林／人工造林（23.83ha）、間伐（12.13ha）、下刈り（82.66ha）への助成
・担い手対策として15名に対して助成
　事業主に対し、作業員の就業日数に応じて福利厚生に係る経費を助成
　森林作業員に対し、積み立てた掛け金に就業日数に応じ奨励金を交付
・北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への協力
　北海道立北の森専門学院の学生の就学支援、実習やインターンシップへの協力など
　（学生へのインターンシップ等への補助負担金として協力）
・森林環境活性化推進事業・森林再生支援事業
　富良野自然塾の植樹活動を支援　参加者数 3,597人 植栽本数 1,491本
・民間事業者による旅行商品化／富良野自然塾･ゼロカーボントラベラー 参加者数 150人

③河川環境の保全

本市は、水道水源として利用される空知川水系の上流域に位置しており、近自然工法による河川整備の実施や、富良野市道路河川愛護会による河川の草刈り等を実施し、良好な河川環境の保全と維持に努めています。

◆令和 5 年度の具体的な取組

・主要河川水質調査の実施
・環境展で汚水処理 PR
・ごみが散見されるエリアへのポイ捨て防止のぼりの設置
・河岸洗堀防止を目的とした護岸修繕（中央川、基線川、笹沢川、7 号沢川）
・空知川水系 1 級河川（28 河川）の草刈り実施（富良野市道路河川愛護会 17 組合）

自然共生社会のまち

④野生生物との共生と保護活動の推進

本市では、野生鳥獣及び外来生物による農作物被害等が増加しており、その対策として捕獲器の設置等を実施しています。また、市民への自然保護の啓発活動として、オオハンゴンソウの防除活動などを実施しています。

野生鳥獣による被害面積
685ha（目標値:R6年度 392ha）

	R2	R3	R4	R5
被害面積（ha）	569	580	734	685

（資料）農林課より

野生鳥獣による被害額
214,842 千円
（目標値:R6年度 109,333 千円）

	R2	R3	R4	R5
被害額（千円）	163,911	164,223	147,779	214,842

（資料）農林課より

◆令和 5 年度の具体的な取組

・富良野市鳥獣被害対策実施隊等による駆除活動の実施
　ヒグマ 22 頭、エゾシカ 747 頭、アライグマ 390 頭を捕獲
・捕獲に対し交付金の支給、狩猟免許取得への助成を実施
・エゾシカライトセンサス調査の実施
　10/23 生息動向調査を猟友会と協力し実施
・特定外来生物オオハンゴンソウの防除活動　2 回（6/10・8/26）29 名参加

⑤自然環境資源の有効活用

本市では、登山コースの整備修繕や市民を対象とした環境に関する体験活動、農村景観を適切に保全する取組を実施しています。

◆令和 5 年度の具体的な取組

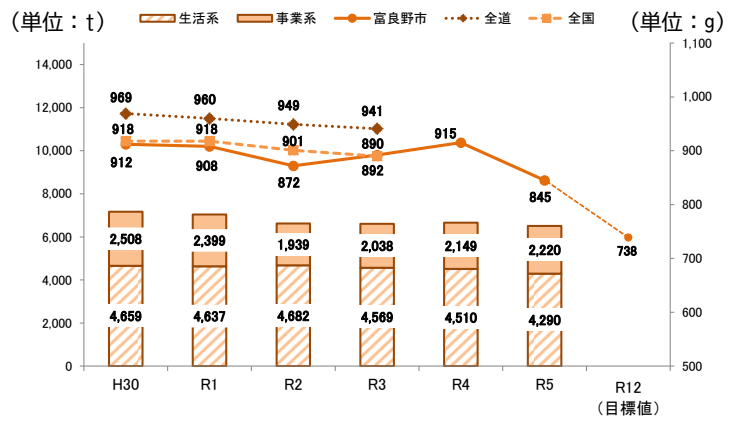
・富良野の自然に親しむ集いの開催　計 5 回 のべ 88 名参加
　5/13 花とバードウォッチング　7/22 ヘイケボタル観察会
　9/2 活火山・活きている大地　9/21 夜の自然散策～アンタレス食とコウモリ～
　3/16 冬の風穴を観察しよう
・朝活！野鳥観察の開催　参加者 10 名
　5/24 鳥沼公園で早朝のバードウォッチング
・環境教育の実施　小学高学年 6 校 170 名（富良野自然塾 環境教育プログラムを活用）

循環型社会のまち

⑥ごみの減量化・リサイクル対策の継続的な推進

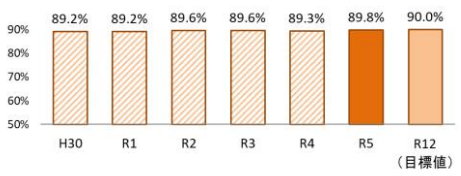
本市では、ごみの広域分担処理を実施しており、廃棄物処理・資源循環システム（固形燃料化、有機肥料化等）によって再資源化率が非常に高く、約 90%で推移しています。市民１人１日あたりの排出量は、北海道平均よりも低い状態を維持しています。

1人1日あたりのごみ排出量 845g/人･日
（目標値:R12 年度 738g/人･日）



（資料）環境課より

ごみの資源化率 89.8%
（目標値:R12 年度 90.0%）



（資料）環境課より

ごみ資源化分を除いたごみ排出量
93g/人･日

◆令和 5 年度の具体的な取組

・9/16 ふらの環境展の開催　参加 8 団体
　フリマ、ネイチャーコンクール、パネル展示、研究発表、講演会、体験ブースなど
・リサイクルマーケット　月 2 回開催（のべ 387 名来場　販売枚数 1,869 枚）
・廃棄物の処理及びリサイクルの概要の作成、広報を通じてごみ分別のＱ＆Ａ等を周知

⑦ごみの適正処理とストックの有効活用の推進

本市では、不法投棄の監視パトロールを行い、防止に努めています。また、既存のインフラ・公共施設の有効活用を進めています。

不法投棄の件数 14 件
（目標値:R12 年度 12 件）

	R2	R3	R4	R5
不法投棄件数	42	29	17	14

（資料）環境課より

◆令和 5 年度の具体的な取組

・不法投棄パトロールの実施
・市民に対して広報ふらの・分別アプリ等を活用しごみの適正処理について啓発実施
・地域会館への防災資機材の整備
　発電機、投光器、車いす、リヤカー、暖房機等
　（自主防災組織 5 団体へ）

快適環境社会のまち

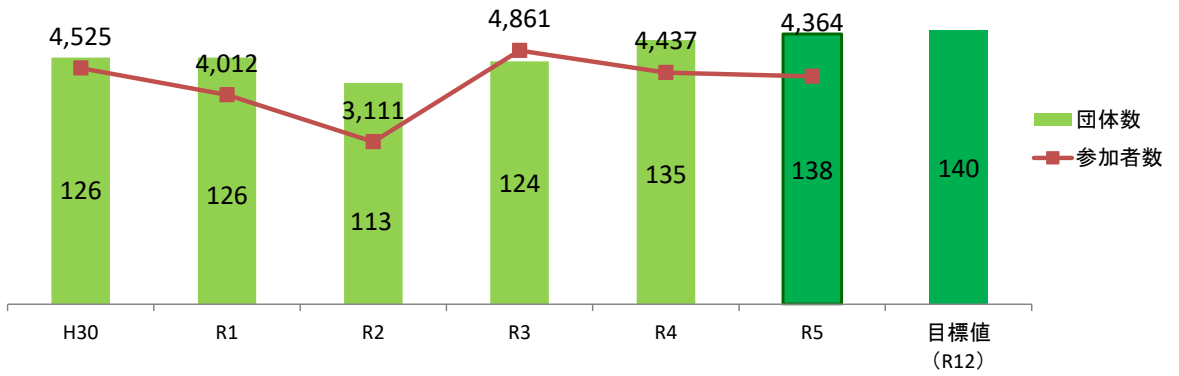
⑧魅力ある農村景観の保全と都市景観の形成

本市では、森林と一体となった景観・環境を保全するために、平成 29 年に都市計画法に基づく景観地区に北の峰地区を指定しています。

また、令和２年８月に農業と観光の調和のとれた景観形成をめざした「富良野市景観条例」を施行し、この条例に基づき令和２年 11 月に「富良野市景観計画」を施行、取組を進めています。

そのほか、地域の景観を良好に保つため、春・秋の環境美化運動など、地域の美化活動を定期的に行っています。

春秋の環境美化運動の参加団体数　138 団体　4,364 名



※春・秋の環境美化運動以外にも各種団体による美化活動が実施されています。　（資料）環境課より

公園遊戯施設更新数　147 基
（目標値:R12 年度 154 基）

	R3	R4	R5
施設更新数（基）	127	137	147

（資料）都市施設課より

◆令和 5 年度の具体的な取組

・中山間地域等直接支払交付金事業を活用し、地域共同活動実施（取組面積 2,000.5ha）
・春・秋に環境美化運動を実施　138 団体 4,369 名参加
・各種団体による美化活動の実施（美化活動に対してごみ袋等の支援）
・不法投棄パトロールの実施
・公園施設長寿命化改修工事（遊具の更新等）の実施（5 公園）
・プランター（移動式花壇）の配置 36 基 108 株（駅前広場及び無頭川リバーモール）

快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

本市では、河川等の公共用水域や地下水の水質を適切に維持するため、排水による汚染負荷を低減するための排水対策などを行っています。

また、市内に自然が多く、大気汚染源となる工場・事業場や自動車等が少ないことから、良好な大気環境が維持されています。

自動車騒音常時監視調査も実施しており、生活環境に関する相談、苦情等があれば、関係部署と協力し対処を行っています。

水質汚濁の代表的な指標であるＢＯＤは　環境基準点で概ね基準内

※今回環境基準を超えた西達布川おもと橋については前回調査において基準内であったことから次回調査まで経過観察することとします。

■BOD※の環境基準適合状況

河川名	環境基準点	調査結果								環境基準（mg/ℓ）
		前回				今回				
		測定日（前日・前々日）	天候	水温（℃）	BOD（mg/ℓ）	測定日（前日・前々日）	天候	水温（℃）	BOD（mg/ℓ）	
勇振川	勇振川橋	(R3.9.5) (R3.9.6) R3.9.7	晴れ 晴れ 晴れ	17.1	0.6	(R5.9.10) (R5.9.11) R5.9.12	晴れ 晴れ 晴れ	18.5	0.7	—
西達布川	古潭橋			17.3	0.7			18.0	1.0	1.0
	おもと橋			15.4	0.6			15.6	1.4	1.0
無頭川	学田橋			18.5	1.1			20.2	1.0	—
ベベルイ川	中央橋			13.1	1.6			16.0	0.6	—
富良野川	シャトーふらの橋			15.2	0.9			18.8	0.6	—
北２線川	水車川橋			18.1	0.0			22.1	0.9	—
基線川	市道北の峰５線との交差			15.9	0.8			21.1	1.0	—
北１号川	新光橋			14.9	1.0			15.0	1.0	—
空知川	富良野大橋	(R2.7.18) (R2.7.19) R2.7.20	晴れ 晴れ 晴れ	21.3	0.8	(R4.9.11) (R4.9.12) R4.9.13	晴れ 曇り 晴れ	17.9	0.0	2.0
	布部大橋			21.9	1.1			16.1	0.0	2.0
	平和橋			24.0	1.1			18.5	0.5	2.0
	山部橋			24.5	1.1			18.3	0.5	2.0
布部川	布部川大橋			20.1	0.8			13.1	0.0	—
白鳥川	白鳥橋			15.4	0.9			12.4	0.0	—
布礼別川	中島６線橋			20.7	1.3			14.6	0.0	—
八線川	八線橋			21.5	1.2			15.4	0.0	—

（資料）主要河川水質調査より

※空知川、西達布川のみ環境基準値が設定されています。

※BOD（生物化学的酸素要求量）とは、微生物が水中の有機物を生物学的に酸化・分解するために必要な酸素量のことで、数値が高くなるほど汚濁していることを示します。

快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

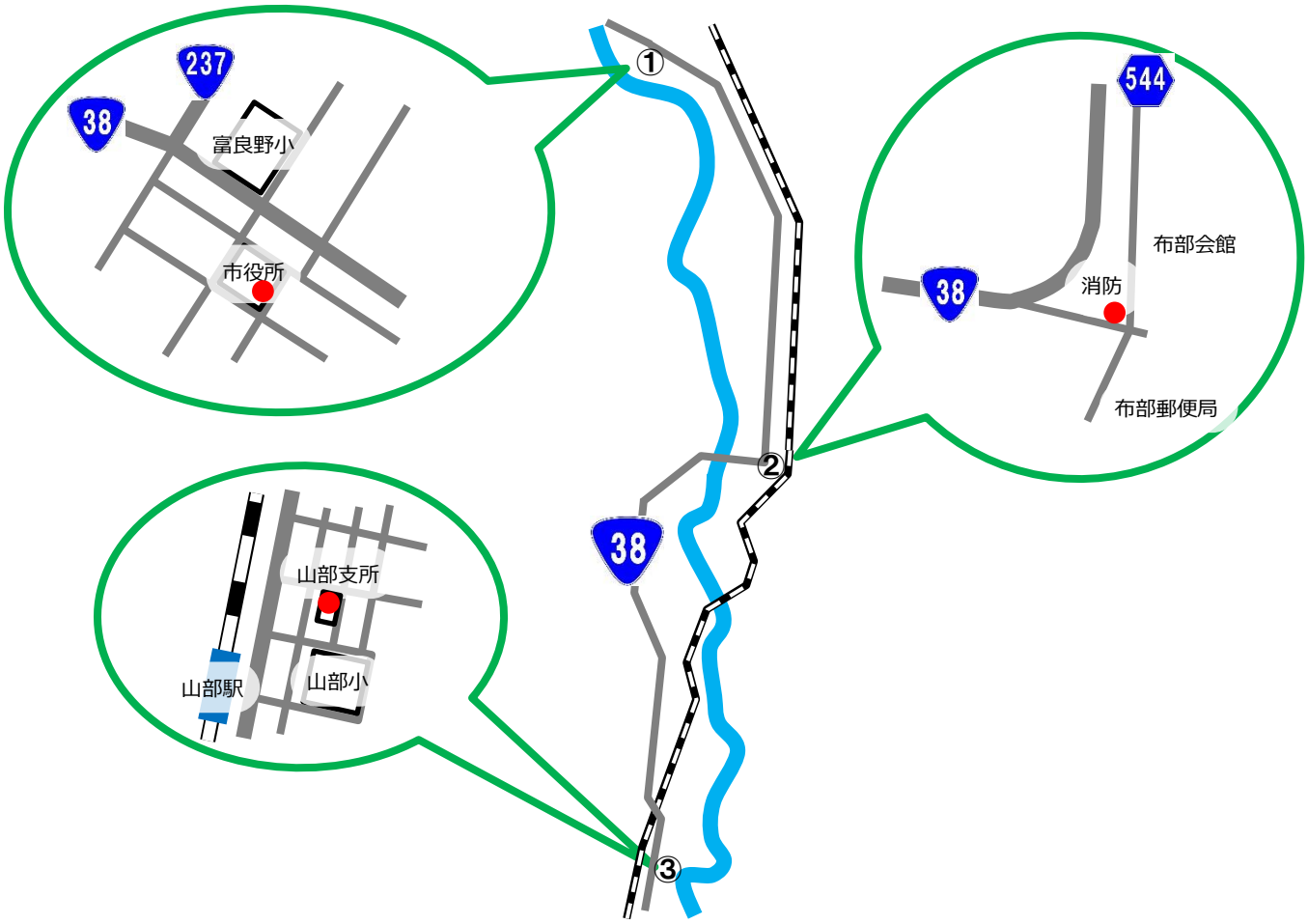
大気環境測定によるアスベスト（石綿）濃度は
全ての測定地点で問題なし

測定場所	石綿繊維数濃度幾何平均濃度（本/ℓ）
①富良野市役所	0.1
②布部消防付近	0.1
③山部支所付近	0.1 未満

※環境基準値はありませんが、大気汚染防止法における敷地境界線の濃度は 10 本/ℓに定められています。
※この方法による測定の定量下限は 0.1 本/ℓです。
（資料）環境課より

◆令和 5 年度の具体的な取組

・大気環境測定調査を実施



快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

自動車騒音の実測値は全ての観測地点で　環境基準値以内

調査年	路線名	評価区間の始点	評価区間の終点	調査点	実測値（dB）	環境基準値（dB）	
H30	一般国道38号線	学田三区 学田こ線橋付近	新富町エーコープフォーレスト店 富良野市場付近交差点	北の峰町29番19号 三共自興手前付近	67	昼間時間帯	70
					60	夜間時間帯	65
	道道北の峰線800号線	北の野峰19番 北の峰ターミナル 交差点付近	北の峰35番 北の峰セルフ給油所 交差点付近	北の峰町32番 北の峰児童館 交差点付近	62	昼間時間帯	70
					57	夜間時間帯	65
R1	一般国道38号線	緑町3番(公営住宅) 9番付近	字西扇山 旭川開発建設部 富良野河川事業所付近	緑町10番 アグリランド付近	68	昼間時間帯	70
					60	夜間時間帯	65
	道道山部北の峰線985号線	末広町7番 ふらの五条大橋入口	末広町8番 フラノ・マルシェ付近 交差点	末広町9番 かわむら整形外科 向かい付近	64	昼間時間帯	70
					56	夜間時間帯	65
R2	道道奈江富良野線759号線	北斗町13番 シャトーふらの橋付近	桂木町3番 富良野西中学校 交差点付近	桂木町4番 交差点付近	61	昼間時間帯	70
					46	夜間時間帯	65
	道道東山富良野停車場線253号線	東町2番 富良野地区農業 共済組合交差点付近	日の出町4番 富良野駅前交差点付近	栄町4番 溝口洋服店付近	64	昼間時間帯	70
					50	夜間時間帯	65
R3	市道相生通線	日の出町4番 富良野駅前交差点付近	桂木町3番 富良野西中学校 交差点付近	朝日町9番 藤田サイクル付近	59	昼間時間帯	70
					48	夜間時間帯	65
R4	一般国道237号線	新富町エーコープフォーレスト店 富良野市場付近交差点	花園町 花園橋前	朝日町15番13号 小出商店付近	66	昼間時間帯	70
					60	夜間時間帯	65
	一般国道38号線	新富町エーコープフォーレスト店 富良野市場付近交差点	緑町9番付近	末広町8番15号 大塩畳店付近	63	昼間時間帯	70
					58	夜間時間帯	65
R4	一般国道237号線	桂木町3番 富良野西中学校 交差点付近	新富町エーコープフォーレスト店 富良野市場付近交差点	本町12番19号 セイコーマート 富良野店付近	64	昼間時間帯	58
					56	夜間時間帯	40
	一般国道38号線	学田三区 学田こ線橋付近	新富町エーコープフォーレスト店 富良野市場付近交差点	北の峰町29番19号 三共自興手前付近	58	昼間時間帯	55
					40	夜間時間帯	40

自動車騒音調査は平成24年度から市で実施しています。8路線を5年かけて調査します。　（資料）環境課より

◆令和5年度の具体的な取組

・歩行者や自転車利用者が安全で安心して通行できるまちづくりの実施
　道路改良舗装工事による車道、歩道の整備（7路線）
　市道橋長寿命化事業による橋梁の整備（1ヵ所）
・自動車騒音調査を実施

快適環境社会のまち

⑨良好な生活環境の維持

汚水処理人口普及率　92.4%
（目標値:R12 年度　92.0%）

	R3	R4	R5
普及率（%）	91.2	91.7	92.4

（資料）上下水道課より

◆令和 5 年度の具体的な取組

・ふらの環境展にて下水道に関する展示
・複合庁舎ロビーにカラーマンホール展示
・高校生によるカラーマンホールの着色・設置
・マンホールカードの作成・配布
・水洗化促進のホームページ更新
・ホームページ･広報による区域外での合併浄化槽の設置及び補助のＰＲ
・水道施設の水位観測・水質検査の実施

⑩有害化学物質への対応

市内にアスベスト鉱山跡地があるため、北海道と連携して大気環境の測定を実施しています。

大気環境測定によるアスベスト（石綿）濃度は
全ての測定地点で問題なし

測定場所	石綿繊維数濃度幾何平均濃度（本/ℓ）
①富良野市役所	0.1
②布部消防付近	0.1
③山部支所付近	0.1 未満

※環境基準値はありませんが、大気汚染防止法における敷地境界線の濃度は 10 本/ℓに定められています。
※この方法による測定の定量下限は 0.1 本/ℓです。

（資料）環境課より

◆令和 5 年度の具体的な取組

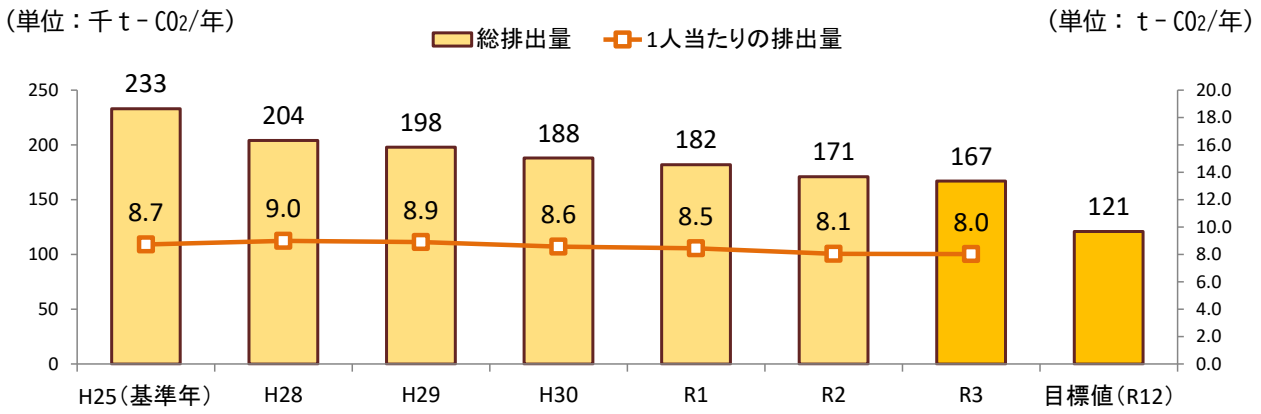
・北海道と連携、アスベスト鉱山跡地確認
・大気環境測定調査を実施

脱炭素社会のまち

⑪地球温暖化防止策の推進と実践

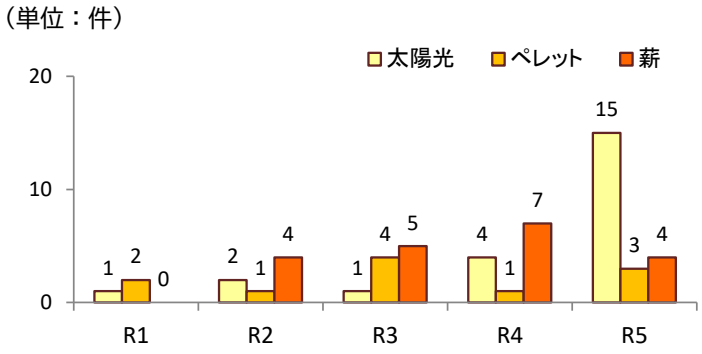
本市では、令和３年４月に「ゼロカーボンシティ」を表明しました。
温室効果ガス排出量の削減を進めるため、地域のエネルギーを利用できる太陽光発電設備や木質バイオマスストーブの購入補助を実施しています。また、都市機能のまちなかへの集約や、コミュニティカーの運行などによる交通手段の確保も行っています。

富良野市の CO_2 総排出量は 前年度から微減



（資料）環境省 部門別 CO_2 排出量の現況推計より（直近の公表が R3）
※毎年修正等が行われているため昨年の環境白書と数値が変更になる場合があります。

再生可能エネルギー導入補助事業件数 22 件



※薪ストーブの導入補助事業は令和２年度より開始しています。

再生可能エネルギー導入補助事業による CO_2 削減量 44.6t-CO_2/年

種別	年間削減量
太陽光	12.0 t-CO2／年
ペレット	5.7 t-CO2／年
薪	26.9 t-CO2／年
計	44.6 t-CO2／年

令和２年度～令和４年度補助事業者の利用状況報告を基に作成しています。

◆令和５年度の具体的な取組

・市民・事業者への太陽光発電設備及び木質バイオマスストーブ導入補助事業の実施
　ペレットストーブ導入補助内容　３件 450 千円
　薪ストーブ導入補助内容　４件 593 千円
　太陽光発電設備導入補助内容　15 件 1,043 千円

脱炭素社会のまち

⑪地球温暖化防止策の推進と実践

◆令和 5 年度の具体的な取組

・東 5 条 3 丁目地区市街地再開発事業
　着手に向けた施行予定者への補助金交付（国費・市費）
・富良野市立地適正化計画の実践及び推進
　3/25 計画策定・検証委員会の開催
・富良野市脱炭素ロードマップ推進計画の策定
・富良野市森林整備計画に基づき、計画的な森林整備を推進
　市有林／皆伐（4.05ha）、下刈り（16.36ha）、造林（2.74ha）の実施
　民有林／人工造林（23.83ha）、間伐（12.13ha）、下刈り（82.66ha）への助成
・広報ふらの等を活用したごみ減量化の啓発活動
・各種ゼロカーボン推進事業の実施　※詳細は「⑯環境情報の共有化」に記載

富良野市役所　新市庁舎における新たな取組について

井水熱利用システムの導入

～新エネルギー設備導入支援事業　設備等導入概要～

事業の目的

新市庁舎は庁舎機能と文化会館機能を合わせた複合施設とし、災害時の防災拠点と市民の緊急避難場所となります。平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震による大停電の経験から、台風や地震などの災害のみならず、災害に伴う停電に対しても対応できるよう、非常用発電機を備え、再生可能エネルギーを積極的に利用することで、平時も災害時においてもエネルギーの消費を抑えた空調システムを構築し、脱炭素社会の実現を目指します。

事業の概要

空調の一部に井水（地中）熱利用システムを導入し、庁舎内の冷暖房を行います。地中熱源として地下水をくみ上げて、地下水が持つ熱エネルギーを連続的に利用する方法で、その他空冷式ヒートポンプ、温水機の熱を組合わせた空調システムとなっており、平時の熱利用は井水熱ヒートポンプを優先して運用し、二酸化炭素の排出を削減します。

補助事業名

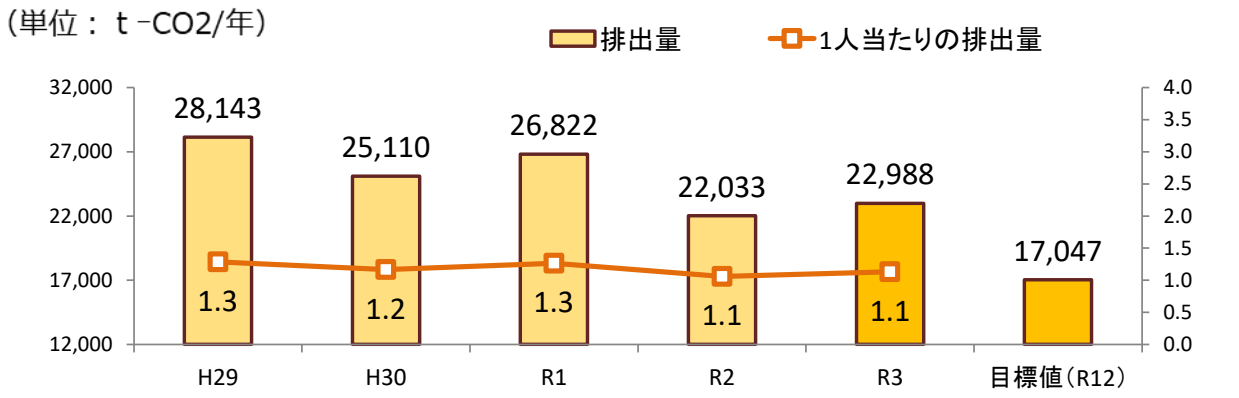
【環境省】
　令和 2 年度二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金
【北海道】
　新エネルギー設備導入支援事業
　事業名：富良野市新庁舎建設地中熱設備工事

脱炭素社会のまち

⑫資源・エネルギーの有効利用と実践

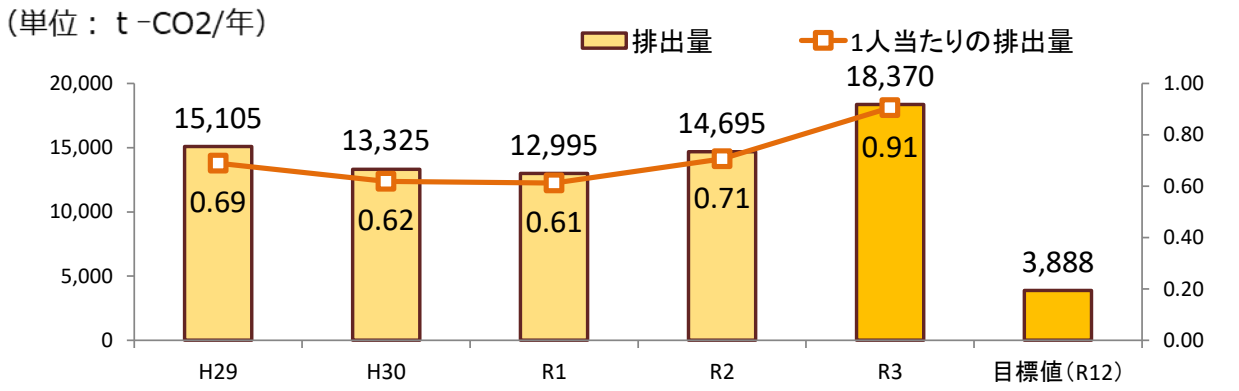
本市では、再生可能エネルギーの利用促進のために、白鳥川への小水力発電の設置や、衛生用品の固形燃料化の取組などを進めています。また、市民向けの啓発策として、うちエコ診断士※を家庭に派遣するなど、ライフスタイルに合わせた効果的な省エネ対策や提案の実施をしています。

富良野市の灯油由来の CO_2 排出量は　前年度から約 4％増



※地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）に基づき、部門別に按分して再計算しています。基礎数値については毎年見直しがされています。

富良野市の重油由来の CO_2 排出量は　前年度から約 25％増



※地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）に基づき、部門別に按分して再計算しています。基礎数値については毎年見直しがされています。

◆令和 5 年度の具体的な取組

・市ホームページ等を活用し、北海道と連携した省エネに資する情報の提供
・小水力発電（白鳥川）の実証試験と見学対応の環境整備
・衛生用品の資源化処理に向けた調査研究

脱炭素社会のまち

⑫資源・エネルギーの有効利用と実践

【うちエコ診断】

各家庭のライフスタイルや地域特性に応じたきめ細かい診断・アドバイスを実施することにより効果的に二酸化炭素排出量の削減・抑制を推進していくための制度です。

環境省認定の「うちエコ診断士」がご家庭のエネルギー対策・地球温暖化対策を診断し、ご家庭に合わせたオーダーメイドの対策を提案します。

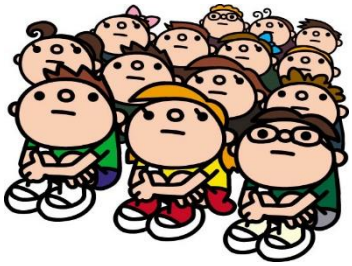
WEB 版の簡易的なうちエコ診断も周知

⑬気候変動への適応策の推進

近年、地球温暖化が進んでおり、日本を含む世界中の国々でその影響が現れています。市内においても、猛暑や豪雨などの異常気象の増加や、降雪量の増減といった気候変動の影響が現れており、気候変動への緩和策だけではなく、適応への対応も求められています。

◆令和 5 年度の具体的な取組

・地域会館自衛消防訓練の実施（6 施設 125 名参加）
　4/20 北の峰コミュニティセンター 23 名
　7/25 朝日会館 15 名
　8/25 西地区コミュニティセンター 10 名
　10/10 北の峰コミュニティセンター 49 名
　10/10 東春地区コミュニティセンター 16 名
　1/8 布部会館 12 名
・2/8 防災講演会の実施（参加者 65 名）
・防災に係る出前講座の実施（5 回）



活動・協働社会のまち

⑭市民、事業者、市の協働による自主的な活動の推進

本市では、環境の取組に意欲的な市民が集まった「ふらの市民環境会議」などが主体となり、講演会・施設見学会・ふらの環境展・フリーマーケットなどの様々な取組を実施しています。また、「太陽の里ふれあいの森」や「鳥沼公園」などを拠点とした環境活動の取組も進められています。

◆令和 5 年度の具体的な取組

・環境教育の実施　小学高学年 6 校 170 名（富良野自然塾 環境教育プログラムを活用）
・富良野市観光ルート清掃ボランティアの実施　建設業協会企業他　213 名
・森林環境活性化事業の実施
　（荒廃地の森林への復旧を目的とした造成活動に対しての助成）
　富良野自然塾が実施している植樹活動を支援　参加者 3,597 名　植栽本数 1,491 本
・ふらの市民環境会議の取組
9/16 ふらの環境展の開催　参加 8 団体
　フリマ、ネイチャーコンクール、パネル展示、研究発表、講演会、体験ブースなど
9/27 施設見学会　参加者 20 名

◆富良野市における環境に関する条例など

・富良野市環境基本条例　・富良野市まちをきれいにする条例
・富良野市緑化推進条例　・富良野市景観条例
・富良野市自転車の放置防止に関する条例

【ふらの市民環境会議の主な取組】
ふらの環境展・市民施設見学会

施設見学会 美唄ﾎﾜｲﾄﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰ

環境展 ペレットストーブ展示

環境展 パネル展示

環境展 体験ブース

活動・協働社会のまち

⑮幅広い世代への環境教育・環境学習の推進

市内の保育所・幼稚園や小学校では、農業体験や自然体験など環境教育を実施しています。また、富良野自然塾や森林学習プログラムなどで、環境学習や森林ガイドの育成などを行い、環境に関わる人材の育成を進めています。

自然体験･環境学習事業の実施回数　8 回
（目標値:R12 年度　10 回）
（資料）生涯学習センターより

◆令和 5 年度の具体的な取組

・小水力発電施設（白鳥川）での環境学習（視察対応 1 件）
・森林学習サポーターの育成
　認定サポーター29 名（うち新規 2 名）
　森林学習サポーターのスキルアップ研修会等の実施（4 回）
　新規サポーター対象の認定研修の実施（4 回）
・小中学生を対象とした森林学習プログラムの実施（7 校 8 回）
・小学 3～5 年生を対象に環境保全等をテーマとした授業の実施（3 校 139 名）
・環境教育の実施　小学高学年 6 校 170 名（富良野自然塾 環境教育プログラムを活用）
・市内保育所　※こども未来課把握分
　「農業体験（苗植え～収穫～調理）」「花植え体験」などの実施
　園児や保護者等　のべ 203 名参加
・市内幼稚園　※こども未来課把握分
　「農業体験（収穫・調理・交流など）」「自然体験」などの実施
　園児・高校生・保護者等　のべ 269 名参加（高校や自然塾との連携も）
・富良野の自然に親しむ集いの開催　計 5 回 のべ 88 名参加
　5/13 花とバードウォッチング　7/22 ヘイケボタル観察会
　9/2 活火山・活きている大地　9/21 夜の自然散策～アンタレス食とコウモリ～
　3/16 冬の風穴を観察しよう
・神社山自然観察路一般公開で一般市民対象の自然ガイド実施

活動・協働社会のまち

⑯環境情報の共有化

本市では、ホームページを用いて毎年発行している環境白書の公開をしているほか、環境イベントの広報・周知を行うなど、環境情報の発信に努めています。また、毎月発行・配布している「広報ふらの」の中で、リサイクル掲示板などの情報掲載を行っています。

◆令和 5 年度の具体的な取組

・ふらのゼロカーボンアクション 100＋α作成
・100＋αの Youtube 動画作成　市公式 Youtube で配信
　富良野高校演劇部の協力
・ポイ捨ての Youtube 動画作成　市公式 Youtube で配信・市内宿泊施設等へ周知等
　緑峰高校ゴミレンジャーの協力
・「私なりのゼロカーボン」実施　参加者 60 名
・「ゼロカーボンセミナー」実施
　ゼロカーボンキッズラボ　参加者 30 名
　おいしく食べてゼロカーボン　参加者 33 名
・廃棄物の処理及びリサイクルの概要の作成
・ごみ分別アプリ・市ホームページによる情報発信
・環境審議会の開催
・広報ふらのでの発信　リサイクル掲示板（毎月）・ごみＱ＆Ａ（随時）等の掲載
・環境白書の作成

⑰広域的ネットワークの構築

本市は、基幹産業が農業であり、農村集落機能の維持・活性化の推進は重要な取組の一つとなっています。
また、農村居住者と都市生活者の連携・交流を進めるため、市では移住者向けにワンストップ相談窓口を設置したり、ワーケーションによる関係人口の創出を図っています。

◆令和 5 年度の具体的な取組

・中山間地域等直接支払交付金事業にて地域の魅力発信事業の実施 1 件
・ワーケーション実証費用助成金事業の実施　活用 52 件

令和 6 年度　富良野市環境白書
～ふらのの魅力を支える環境を守り 活かすまちをめざして～
令和 7 年（2025 年）3 月発行

発行　富良野市
編集　富良野市 市民生活部 環境課
〒076-8555 富良野市弥生町 1 番 1 号
TEL：0167-39-2308
FAX：0167-23-1313
Email：kankyou-ka@city.furano.hokkaido.jp